

第 5 次三島市総合計画前期基本計画の策定について

1 前期基本計画の役割

基本構想における将来都市像、基本目標の実現のための 5 年間の施策の方向性を示すもの。

<総合計画における 3 つの計画>

名称	期間	概要
基本構想	10 年間 (R3～12 年)	基本理念や将来都市像、基本目標を示すもの
基本計画	5 年間 (R3～7 年)	基本目標に基づく具体的な施策を示すもの
実施計画	3 年間	基本計画で示した施策の実効性を担保するための優先度、具体的な期間、事業量、事業費などを示した計画で、毎年見直しを行うもの

2 策定のポイント

- (1) 基本計画全体について
 - ・時代の変化により対応しやすいよう、現行計画では基本構想で位置づけていた「人口ビジョン」「体系図」を基本計画に位置づけました。
- (2) 体系図について
 - ・施策を統合し現行計画に比べよりスリムで分かりやすくなるよう工夫しました。
 - ・現行計画の特徴として、市の重点的な取組を 1 つの施策としていましたが（例：食育）、重点プロジェクトにその役割を移し、なるべく施策の枠組みが分かりやすくなるよう工夫しました。
- (3) 人口ビジョン及び重点プロジェクトについて
 - ・最も重要な課題である人口減少社会における持続的な発展を実現するための取組を重点プロジェクトとして設定しました。
 - ・11 のプロジェクトをその役割から 3 つに区分しより見やすくなるよう工夫しました。
- (4) 各施策
 - ・現行計画で記載されていた主要事業は事業名が計画期間中に変更となることも多いことなどから、本計画では削除し、実施計画で記載していきます。
 - ・協働の取組については、計画全体の視点として「共創」を設定し、各施策では記載には記載しないこととしました。

*その他、各項目については別紙参照